

2021年度 こども・思春期精神分析セミナー 「コロナ禍の中の精神分析」

現在私たちは、世界規模で目に見えない脅威に晒されています。2020年1月頃中国から始まったCovid-19は、瞬く間に全世界に広がり、私たちの生活と取り巻く環境は否応なしに変化を強いられました。臨床実践に携わっている私たちにとっても、クライアントにとっても、様々な影響を及ぼすことになったと言えるでしょう。そして、今も尚、「コロナ禍」の中に私たちは居ます。

精神分析的臨床実践においては、クライアントの内的世界の理解を重視するとしても、現実的なこの状況の影響は当然無視できません。現実を踏まえつつも、それがどのようにクライアントの内的世界や、治療関係に影響を及ぼしているのかを考え続ける必要がありますが、これは決して簡単な作業ではないでしょう。

また、緊急事態宣言による治療の中断と再会、オンライン面接の導入、消毒・マスク着用やアクリル板設置、プレイルームの玩具の取り扱い、といった様々な治療構造の工夫や変化も治療関係に影響を及ぼすことになっているでしょう。まだ、「コロナ禍」の渦中ではありますが、私たちの臨床実践を、精神分析的な観点から再検討しておく意義は大いにあるのではないのでしょうか。

本セミナーは、既に精神分析的臨床実践を行っている臨床家のみならず、こどもや思春期の臨床に携わり、精神分析にご関心のある方を対象にしています。コロナ禍の中で私たち自身が生き残るためにも、精神分析的な視点で私たちの臨床実践をどのように捉えることができるのかを、共にディスカッションしていきましょう。

今年も、会場とZOOMのハイブリット開催をいたします。これまで参加できなかった関東以外の臨床家の方々のご参加も歓迎いたします。

主催：こども・思春期精神分析研究会 木部 則雄

- ◆日 程：2021年5月～2022年3月までの奇数月（全6回）第2日曜日13時～16時45分
※受付開始は12時50分からとなります。
- ◆形 式：前半は講義，後半は症例検討
- ◆会 場：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター8F （9月のみ9F）
- ◆対 象：こども・思春期を対象とした精神分析的セラピーに関心のある医師，臨床心理士，公認心理師、もしくは現在専門的にそれらを学んでいる大学院生等の学生
- ◆定 員：80名 ※会場かZOOMでの参加。感染状況に応じて会場の人数は制限されることがあります。
- ◆参加費：40,000円 ◆申込期限：2021年2月28日 **2021年3月31日まで延長いたしました**

	日程	講師	司会	事例提示
第1回	5月9日	木部 則雄	脇谷 順子	中村俊一郎
第2回	7月11日	田中 康裕	木部 則雄	浅野美穂子
第3回	9月12日	奥寺 崇	木部 則雄	戸田 堯裕
第4回	11月14日	飛谷 涉	木部 則雄	井元 健太
第5回	1月9日	平井 正三	木部 則雄	塚瀬 将之
第6回	3月13日	鈴木 龍	木部 則雄	梶田 紗妃

（敬称略）

※本セミナーは、臨床心理士資格の更新に必要なポイント申請を行っていますが、来年度のZOOMセミナーの開催の認定については、3月以降に臨床心理士資格認定協会からお知らせがある予定です。

お申込先

こども・思春期精神分析研究会HP
(<https://kodomo-psychoanalysis-sg.com/>)

講師

奥寺 崇
木部則雄
鈴木 龍
田中康裕
飛谷 渉
平井正三
脇谷順子

クリニックおくでら
白百合女子大学文学部発達心理学科／こども・思春期メンタルクリニック
鈴木龍分析オフィス
京都大学大学院教育学研究科
大阪教育大学保健センター
御池心理療法センター／認定NPO法人子どもの心理療法支援会
杏林大学保健学部／認定NPO法人子どもの心理療法支援会

事例発表者

浅野美穂子
井元 健太
梶田 紗妃
塚瀬 将之
戸田 堯裕
中村俊一郎

こども・思春期メンタルクリニック
こころのドア船橋／NPO法人カウンセリングオフィスSARA
こころの船橋/上智大学カウンセリングセンター/武蔵野大学心理臨床センター
浦安ハートこどもクリニック
聖オディリアホーム乳児院
慶應義塾大学小児科

(五十音順・敬称略)

【参考図書】

第1回

「こころの発達と精神分析-現代藝術・社会を読み解く」(2019) 木部則雄著, 岩崎学術出版社.
「精神分析/精神科・小児科臨床セミナー総論:精神分析のアセスメントとプロセス」(2019) 木部則雄編著, 福村出版.
「こどもの精神分析Ⅰ・Ⅱ」(2007・2012) 木部則雄著, 岩崎学術出版社.
「こどものこころのアセスメント-乳幼児から思春期の精神分析アプローチ」(2007) マーガレット・ラスティン他編, 木部則雄監訳, 岩崎学術出版社.

第2回

「魂の論理的生命: 心理学の厳密な概念に向けて」(2018) ヴォルフガング・ギーゲリッヒ著, 田中康裕訳, 創元社.
「心理療法の未来: その自己展開と終焉について」(2017) 田中康裕著, 創元社.
「事例研究から学ぶ心理臨床(京大心理臨床シリーズ13)」(2020) 桑原知子・田中康裕・梅村高太郎編著, 創元社.
「魂のロジック——ユング心理学の神経症とその概念構成をめぐって」(2001) 田中康裕著, 日本評論社.

第3回

「精神力動的な精神医学 第5版—その臨床実践」(2019) ギャバード著, 奥寺崇・権成鉉・白波瀬丈一郎・池田暁史監訳, 岩崎学術出版社.
「クライン派用語事典」(2014) ヒンシェルウッド 著, 衣笠隆幸総監訳・福本修・奥寺崇・木部則雄・小川豊昭・小野泉監訳, 誠信書房.
「精神分析と文化: 臨床的視座の展開」(2012) 岡田暁宜・権成鉉編著, 奥寺崇他著, 岩崎学術出版社.
「プレゼントモメント—精神療法と日常生活における現在の瞬間」(2007) スターン著, 奥寺崇・津島豊美訳, 岩崎学術出版社.

第4回

「連続講義 精神分析家の生涯と理論」(2018) 大阪精神分析セミナー運営委員会編, 飛谷渉他著, 岩崎学術出版社.
「精神分析たとえ話: タヴィストック・メモワール」(2016) 飛谷渉著, 誠信書房.
「新釈メラニー・クライン」(2014) ミーラ・リカーマン著, 飛谷渉訳, 岩崎学術出版社.
「精神分析過程」(2010) ドナルド・メルツァー著, 松木邦裕監訳/飛谷渉訳, 金剛出版.

第5回

「意識性の臨床科学としての精神分析—ポスト・クライン派の視座」(2020) 平井正三著, 金剛出版.
「児童養護施設の子どもの精神分析的な心理療法」(2018) 平井正三・西村理晃編集, 誠信書房.
「自閉症スペクトラムの臨床—大人と子どもへの精神分析的アプローチ」(2016) ケイト・バロウズ編著, 平井正三・世良洋監訳, 岩崎学術出版社.
「新訂増補 子どもの精神分析的な心理療法の経験—タヴィストック・クリニックの訓練」(2015) 平井正三著, 金剛出版.

第6回

「乳幼児観察入門: 早期母子関係の世界」(2019) 木部則雄・鈴木龍・脇谷順子監訳
「子育て、保育、心のケアに生きる赤ちゃん観察」(2019) 鈴木龍・上田順一編, 金剛出版
「週一回サイコセラピー序説: 精神分析からの贈り物」(2017) 北山修監修・高野晶編著, 創元社.
「思春期を生きぬく」(2000) ロビン・アンダーソン, アンナ・ダーティントン編, 鈴木龍監訳, 岩崎学術出版社.